

分野：国際、地域（インド北東部、日本、台湾）

インド、日本、台湾における若者文化、消費文化研究

氏名： 太田 哲 グローバルスタディーズ学部 教授

多摩大学教員サイト URL

http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/satoshi_ota.html

キーワード

若者文化、消費文化、ポピュラーカルチャー、インド、台湾、クールジャパン

概要(フォント MS 明朝 10.5、900 字程度)

本研究室は日本、東アジアにおける消費文化、ポピュラー文化、社会問題及び若者が直面する問題などを研究し、欧米、及び南アジア地域に積極的に発信をしていく。本研究者は、研究のため台北に2年弱滞在し台湾の若者達と交流及び現地のメディア関係者などから聞き取り調査を行った。英国で学位を取得した後、デリー大学にポストドクトラルフェローとして在籍し、デリー大学及びネルー大学など大学を中心に活動し、日本及び東アジアの若者文化や消費文化について講義、セミナー、学会での講演を行い現地の教員及び学生に対し東アジアの現在の姿を積極的に紹介していった。本研究者の学位は社会人類学であることから、現場重視のフィールドワーク中心の質的調査を得意としている。日本、台湾の若者の消費文化に対し、質的調査を行ったが、インド滞在以来インド北東部のナガ系諸民族の研究も行っている。インド北東部はミャンマーと中国雲南省と国境を接しており、東南アジア、中国、インド文化との接点となるところで今後重要な地域となると考えられる。実際インド北東部の若者のメディア消費はインド本土の若者とは違い、韓国のドラマや音楽が積極的に消費されている。これは東南アジアや中国でも同じ現象が見られるが、インド本土においては東アジア文化はアニメ以外はほとんど消費されていない。このように、違う文化の人々の消費行動に注目し、文化の違いによる「好み」の違いなどについて研究を行っている。

利用・用途

応用分野 (フォント MS 明朝 10.5、500 字程度)

台湾、インドでの若者文化や消費文化の調査、イギリスでの留学経験から、海外事情に精通しており、海外の事情を知りたい企業、自治体などに対しアドバイス、等を行うと同時に、これから海外に日本の文化や商品などを海外に輸出しようと考えている企業、または県や市の特産品を海外に対して紹介したい地方自治体などの手助けに本研究室の研究は利用できると考える。

関連論文・著書 (フォント MS 明朝 10.5、500 字程度)

1. *The Ambiguous Lightness of Being: Taiwanese Youth, Identity, and consumption of Japanese Youth Culture*, Gurgaon: Shubhi Publications, 2009 単著
2. 'The witches of Tokyo: an investigation into the bimajyo trend' in *East Asian Journal of Popular Culture* Volume 1 Number 2 2015
3. 'Herbivorous Boys and Predatory Girls: Gender, Consumerism and Low Birth Rate in Japan' in *Japan's Demographic Revival: Rethinking Migration, Identity and Sociocultural Norms*, in Singapore: World Scientific
4. インド東北部ナガ一族の消費文化 - 社会人類学的見地から - 経営哲学 10 巻 1 号 2013 年 4 月

多摩大学 学長室

206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘 4-1-1

TEL:042-337-7300 FAX:042-337-7103

E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp

URL: <http://www.tama.ac.jp/>



TAMA UNIVERSITY
多摩大学